

平成30年度事業報告

(平成31年3月末日現在)

平成30年度事業報告

【(注) 1. ◎印は平成30年度新規事業を示す。】

1. 訪問看護等在宅ケアの質向上に関する教育等事業

1. 訪問看護等在宅ケアの質向上に関する教育等事業

1) 認定看護師教育に関する事業

認定課程は休校。認定教育課程教育機関連絡会に参加した(7月30日)

日本看護協会による認定教育課程再構築に関する説明会に参加した(12月12日)

2) 訪問看護等在宅ケアに関する研修事業

(1) 平成30年度訪問看護eラーニング

・開講期間: 平成30年4月20日～令和元年5月18日

3月末の受講者数: 1,885名(前年度1,629名)

・2019(平成31)年度改訂版を「訪問看護人材養成基礎カリキュラム」に準拠して作成

※27都道府県看護協会の訪問看護師養成講習会で活用された

(2) 集合研修(集中セミナー含む)

●制度、組織管理関連研修

①平成30年度の報酬改定活用セミナー

【大阪】日時: 4月14日(土)

会場: CIVI 研修センター新大阪東

申込者: 153名

【東京】日時: 4月21日(土)

会場: 飯田橋レインボービル

申込者: 256名

日時: 12月8日(土)

会場: CIVI 研修センター日本橋

申込者: 79名

②請求業務の基礎講座

【大阪】日時: 5月12日(土)

会場: CIVI 研修センター新大阪東

申込者: 152名

【東京】日時: 12月9日(日)

会場: CIVI 研修センター日本橋

申込者: 177名

③訪問看護経営セミナー～経営の黒字化を目指して～

【東京】日時: 5月26日(土)

会場: CIVI 研修センター日本橋

申込者: 51名

④看護・介護一体型サービス及び児童発達支援事業等の報酬改定セミナー

【東京】日時: 7月1日(土)

会場: CIVI 研修センター日本橋

申込者: 46名

⑤訪問看護基礎講座～思い切って一歩～(2日間)

【東京】日時: 2019年3月9日(土)、10日(日)

会場: 家の光会館

申込者: 118名

⑥看護職起業家交流セミナー

【東京】日時: 11月10日(土)

会場: ベルサール新宿グランド

申込者: 76名

●実践力強化のための技術習得研修

⑦医療的ケア児の在宅移行支援(認定看護師のためのフォローアップセミナー)

【大阪】日時: 6月3日(日)

会場: CIVI 研修センター新大阪東

申込者: 107名

- ⑧在宅褥瘡管理セミナー（「在宅褥瘡管理者」の6時間以上研修に対応）
 【東京】日時：6月16日（土）
 会場：CIVI研修センター日本橋 申込者：134名
- ⑨小児訪問看護の実践力向上のための研修2018（3日間研修） ※日本財団助成
 【東京】日時：7月6日（金）、7日（土）、8日（日）
 会場：CIVI研修センター日本橋 申込者：41名
 【新潟】日時：9月7日（金）、8日（土）、9日（日）
 会場：ラマダホテル新潟 申込者：40名
- ⑩質の高い在宅看取りケア実践のためのELNEC-J2018 ※日本財団助成
 【大阪】日時：8月4日（土）、5日（日）
 会場：CIVI研修センター新大阪東 申込者：60名
- ⑪精神障がい者の在宅看護セミナー
 （精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たす研修）
 【東京】日時：8月24日（金）、25日（土）、26日（日）
 会場：飯田橋レインボービル 申込者：255名
 日時：2019年2月22日（金）、23日（土）、24日（日）
 会場：ベルサール神田 申込者：446名
 【松山】日時：8月31日（金）、9月1日（土）、2日（日）
 会場：松山市男女共同参画推進センター
 愛媛県医師会館 申込者：132名
- ⑫在宅療養支援のための臨床推論（認定看護師のフォローアップセミナー）
 【東京】日時：11月10日（土）
 会場：ベルサール新宿グランド 申込者：387名
- ⑬非がん療養者のエンドオブライフケア
 【東京】日時：11月10日（土）
 会場：ベルサール新宿グランド 申込者：155名
- 多職種連携関連研修
- ⑭多職種で学ぶリンパマッサージ
 【東京】日時：7月21日（土）
 会場：浅草橋ヒューリックカンファレンス 申込者：52名
- 専門領域の基盤整備
- ⑮プレゼンテーション力アップセミナー～在宅医療・介護連携のすすめ～
 【東京】日時：7月28日（土）
 会場：浅草橋ヒューリックカンファレンス 申込者：33名
- ⑯療養通所介護（多機能型事業）交流セミナー
 【東京】日時：6月30日（土）
 会場：ナーシングデイ山の上 申込者：30名
- ⑰医療ケア児等支援者養成研修（2日間コース）
 医療的ケア児等コーディネーター養成研修（4日間コース）
 【愛媛】日時：（2日間）9月29日（土）・10月18日（木）
 （4日間）9月29日（土）・10月18日（木）21日（日）、27日（土）
 会場：愛媛県身体障がい者福祉センター・松山市総合コミュニティーセンター・愛媛県医師会館
- (3)介護職員等喀痰吸引等研修（第3号研修機関：在宅ケアセンターひなたぼっこ）
 基本研修（6月4日・6月5日）実地研修（6月6日から7月31日）
 修了者：11名（受講者：12名）

2. 訪問看護等在宅ケアの運営支援に関する事業

1) 電話等による相談事業(無料)

毎週月・水・金(9時～16時)に実施(ただし4、5、6月は診療報酬及び介護報酬の同時改定のため毎日対応した。しかし平成31年3月は体制保持できず月・金の週2日にて実施)

※随時電話相談ミーティングにより相談内容の動向を報告、対応方法について確認、厚生労働省への情報提供や質問等を行っている。一般市民からの相談もある

○総件数:8,793件(電話:7,343件、メール:1,277件、Fax:173件)

○相談内容:当初は理学療法士等との連携が多かったが、年間では関係書類(指示書・報告書等)、精神科訪問看護、医療保険と介護保険の区分け等が主だった

2) アドバイザー個別相談・コンサルテーション事業

(1)訪問看護認定看護師活用による相談指導助言(アドバイザー派遣)

※日本財団助成事業

○訪問看護ステーションへの派遣

・派遣アドバイザー数:訪問看護認定看護師2名

・派遣件数:2件(長野県・北海道)、原則として1件につき2回訪問

・アドバイザー経験者3年以上の訪問看護認定看護師8名を募集し、次年度以降の事業に関する意見交換会(第1回6月25日・第2回9月10日・第3回平成31年1月24日)を開催

○個別相談会(4地域への派遣)

・アドバイザー個別相談キックオフ会議の開催(9月10日)

・アドバイザー数:訪問看護認定看護師25名(うち14名は新規)

・個別相談件数:22件(申込件数:26件)

【東京】8件 【名古屋】3件 【大阪】7件 【福岡】4件

(2)顧客満足度調査事業(申込件数無し)

(3)訪問看護ステーション開設相談(25件)

来所による開設相談(約1時間:無料)で、相談内容は申請手続き、医師等との連携、人材確保などが多かった

(4)療養通所介護・児童発達支援・多機能型事業の開設・運営相談事業(14件)

当財団立療養通所介護ひなたぼっこにて無料で対応した(うち開設に至ったのは4件)

3) 講師派遣・紹介等による訪問看護等在宅ケアの教育支援事業

講師派遣件数:137件(事務局:33件、4訪問看護ステーションの合計104件)

派遣先は、各都道府県看護協会、各都道府県訪問看護ステーション連絡協議会、職能団体等

3. 訪問看護等在宅ケア調査研究並びに事業運営を通じた事業等の開発・制度改善等に関する推進事業

1) 調査研究に基づく情報提供

(1)調査研究

①在宅療養のサービス基盤としての療養通所介護事業等の実態調査(本財団の自主研究事業+ユニバーサル財団助成)

・検討会の開催(5月1日、14日)、実態調査の実施(9月～10月)

研究代表者:石原美和氏(宮城大学大学院教授)

・療養通所介護事業等実態調査及び開設・運営ガイド作成事業に関連して、4療養通所介護事業所にヒアリングを行った(6月8日、11月15日、12月3日)

【概要】療養通所介護49事業所(83か所中:回収率59.0%)の実態から、児童発達支援事業等の併設が進んでいることがわかった。また、医療的ケアや看護マネジメント等の報酬上の評価、行政・市民への制度の周知及び連携、設備整備等の助成などを提言とした(令和元年6月に報告書発行予定)

②千代田区在宅療養実態調査業務及び医療と介護の連携構築支援業務(千代田区業務委託事業)

・区担当者との打ち合わせ会(7月25日、10月5日、12月11日、平成31年2月4日)

・外部学識経験者の参加を得た当該事業検討会の開催(10月19日、平成31年2月27日)

学識経験者:田口理恵氏(共立女子大学大学院教授)

【概要】65歳以上で調査の同意を得られた訪問看護利用者211人（483人中：回収率43.7%）の療養生活実態から比較的軽度者が多いなか介護予防の充実と、訪問看護ステーションのデータ活用による災害時体制整備の必要をまとめた（平成31年3月に報告書作成）

③認知症ケアガイド作成

監修者として作成にかかわった（令和元年9月刊行予定）

④発災後8年目を迎えた応急仮設住宅住民の健康生活上の課題と復興公営住宅住民に対する「まちの保健室」活動の効果（本財団自主研究事業）

外部学識経験者：上野まり氏（自治医科大学 看護学部 教授）

【概要】名取市の復興公営住宅に対する「まちの保健室」活動効果についてヒアリング調査を実施し、名取市被災地支援事業の報告書を作成中である（令和元年6月予定）

⑤令和2年診療報酬改定に関する要望アンケート調査（本財団会員訪問看護ステーション調査）
看保連提出資料、3団体要望、本財団独自の要望書作成のための基礎資料とした

(2) 研究倫理委員会の開催

・第1回研究倫理委員会を7月31日に開催し下記について審議した

① 災後8年目を迎えた応急仮設住宅住民の健康生活上の課題と、復興公営住宅住民に対する「まちの保健室」活動の効果

②余命1か月以内と宣告され退院後に状態が安定化した心不全末期利用者への訪問看護実践

③統合失調症者の手術を受けるまでのプロセスを明らかにする質的研究

④在宅療養のサービス基盤としての療養通所介護事業等の実態調査

・審査結果

①④は承認、②は条件付き承認であったが申請者による取り下げ、③は不承認となった

2) 調査・研究、事業の開発、情報提供及び行政への政策提言のための訪問看護ステーションの運営

【全訪問看護ステーション共通の公益的事業実施事項】

訪問看護等事例検討会の開催、訪問看護師の教育支援、制度、報酬の同時改定後の課題整理・提言、訪問看護普及キャンペーン、訪問看護サミット2018への参画等

【各訪問看護ステーションの公益的事業実施事項】

(1) おもて参道訪問看護ステーション

- ・厚生労働省関連「訪問看護療養費のレセプト電子化に関する調査研究等仕様調整会議」委員
- ・日本産業・医療ガス協会開催の酸素供給装置保守点検従事者研修に関する「HOT（在宅酸素療法）親委員会」（在宅酸素療法用酸素供給装置の保守点検従事者研修に関する委員会）
- ・東京都看護協会 東京都新訪問看護師就労応援事業
- ・在宅における事故報告システムの在り方に関する調査研究事業 ワーキング委員会
- ・港区地域連携会議
- ・出前「けやき通り保健室」、地域の自治会等住民への健康支援活動や相談事業、認知症カフェ開設の検討
- ・訪問看護体験実習の受け入れ
- ・本財団事務局の訪問看護開設相談来所者への相談に対応
- ・本財団事務局の中学生職場体験の受け入れ（5月30日）
- ・韓国の看護大学院生視察研修による見学の受け入れ（11月22日）
- ・東京都訪問看護ステーション協議会 研修委員
- ・東京都看護協会「事業協カステーション管理者・指導者研修会」
- ・新人訪問看護師アドバイザー派遣

(2) 刀根山訪問看護ステーション

- ・大阪府在宅医療推進事業：大阪府医師会との連携による在宅医療コーディネーター
- ・大阪府豊能保険医療協議会 委員

- ・(一社)大阪府訪問看護ステーション協会理事(事務局運営を担っている)
- ・豊中市訪問看護ステーション連絡会 会長
- ・豊中市地域医療推進会議 委員
- ・虹ねっと 認知症部会 委員
- ・豊中市医師会在宅医療・介護コーディネーター:週3日程度
- ・豊中市介護保険事業者連絡会 訪問部会・虐待防止委員会
- ・学校における医療的ケア実施体制構築事業”の訪問看護ステーションと連帯した学校への看護師派遣のための研究
- ・豊中市在宅医療・介護連携支援センター相談窓口
- ・豊中市内の介護・医療関連会議に出席、訪問看護関係者との連携推進
- ・豊中市保健医療審議会 委員
- ・ケアプランセンターにて、大阪府介護支援専門員実務研修の受け入れ(6件)
- ・ELNEC-Jの研修会に協力(8月4、5日)

(3)あすか山訪問看護ステーション

※平成30年12月に事務所移転した(東十条→神谷)

- ・日本看護協会 NICU/GCUを退院する児とその家族の支援推進検討委員会 委員
- ・日本看護協会 倫理綱領検討会 委員
- ・東京都から「東京都教育ステーション事業」の受託
- ・東京都財務局、保健福祉部の視察の受け入れ
- ・東京都在宅療養推進会議(訪問看護推進部会 委員、小児等在宅医療検討部会 委員)
- ・東京都特別支援学校運営協議会 委員
- ・東京都在宅療養推進会議・東京都福祉保健財団 訪問看護ステーション管理者、指導者育成研修委員会
- ・東京都医療的ケア児の専用通学車両運行事業における医療的ケア提供体制整備業務における試運行事業の実施(登校バス同乗8回(7:50~9:10)下校バス同乗1回)
その後、委託を受け医療的ケア児の専用車両に同乗して送迎を実施(週1回)
- ・北区在宅医療連携推進会議 委員
- ・北区区民啓発推進委員会
- ・北区在宅療養資源検討部会
- ・北区自立支援協議会 委員
- ・北区相談支援部会 委員
- ・北区療養相談窓口支援委員
- ・北区訪問看護ステーション連絡協議 会長
- ・全国訪問看護事業協会 小児訪問看護推進検討部会
- ・東京都福祉サービス第三者評価における評価員
- ・介護職員の喀痰吸引に関する特定の者への実地研修の実施
- ・地域支援事業 春祭り開催(110名の参加)、がんカフェ、街カフェ「だんだん東十条」で健康相談の実施

(4)在宅ケアセンターひなたぼっこ

※松山相談支援センターを訪問看護ステーションひなたぼっこに併設し事業を開始した(4月1日)

※障害者総合支援法に基づく事業「就労継続支援B型」が松山市より認可され(9月1日)、事業所名を「ひなたぼっこワークここ」とし、開所式を開催(9月28日)し新たな事業を開始した

- ・在宅推進委員会 委員長
- ・タウンミーティング 委員
- ・手をつなぐ編集会議 委員
- ・東温市子供部会

- ・(再掲)喀痰吸引等の第3号研修の開催(6月4日～7月31日) 終了者数11名(受講者数12名)
- ・愛媛県から本財団が受託した①「医療的ケア児等支援者養成研修(2日間)」及び「医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業(①の2日を含め4日間)」の運営に協力(9月29日、10月18日、10月21日、10月27日)
- ・本財団の「精神障がい者の在宅看護セミナー」の開催に協力した(8月31日、9月1、2日)
- ・本財団の療養通所介護・児童発達支援・多機能型事業の開設運営相談事業を実施

訪問看護ステーション別実績

平成30年度

区 分	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン					
	おもて参道	刀根山	あすか山	ひなたぼっこ		
延べ訪問回数	5,795回 (5,774)	4,840回 (5,793)	17,602回 (16,913)	6,297回 (7,132)		
1ヶ月平均 訪問回数	483回 (481)	403回 (483)	1,467回 (1,410)	524回 (595)		
訪問看護従事者数 (常勤換算人員)	7.0人 (7.30)	5.94人 (6.69)	21.30人 (22.00)	10.0人 (8.30)		
実習受け入れ	延 164人	延 386人	延582人	延104人		
講師依頼	4件	15件	75件	10件		
区 分	居宅介護支援・療養通所・相談支援・就労支援					
	刀 根 山	あすか山		ひなたぼっこ		
延べ利用者数	居宅介護支援 831人 (913)	居宅介護支援 448人 (347)	相談支援 375人 (0)	療養通所 598人 (427)	相談支援 69人 (0)	就労支援 12人 (0)
従 事 者 (常勤換算人員)	2.77人 (2.84)	2.92人 (1.90)	1.08人 (0)	20人 (13.4)	1.00人 (0)	4人 (0)

注1. 在宅ケアセンターひなたぼっこ

相談支援事業を4月1日から開始、就労継続支援B型事業は9月1日から開始

注2. 下段()内は平成29年度の実績

延べ訪問回数はレセプト算定分を計上した

3) 海外視察等による国際交流事業

- (1) 笹川保健財団主催の世界の在宅看護視察研修(カナダの在宅看護視察)に参加(平成31年3月20日～28日)
- (2) 諸外国からの視察・研修等受け入れ、研修講師派遣
 - ・韓国の看護大学の院生7人と教授の視察受け入れ(8月8日)
 - ・日本看護協会主催の「日中韓看護学会(東京・国連大学)に参加(9月17日)
 - ・日本在宅ケアアライアンス・日本医師会共催による「国際在宅医療会議」に出席(9月29日)
 - ・韓国ナーシングホーム協会や家庭看護会の視察受け入れ(看護師17名+通訳)(11月22日)
 - ・ブラジルの医師・看護師等の視察受け入れ(12月4日)

4) 訪問看護等在宅ケア領域における政策提言

- (1) 自民党看護連総会に財団の要望書を提出した(4月13日)
 - 自民党看護問題小委員会にて訪問看護推進に関する要望書提出(9月11日)
- (2) 厚生労働省医政局「全国在宅医療会議」に出席した(4月25日、)
- (3) 立憲民主党看護連に「訪問看護の推進について」の要望を提出した(7月17日)
- (4) 自民党参議院議員政策審議会で訪問看護ステーションの整備を要望(平成31年2月6日)

4. 訪問看護等在宅ケアの調査研究等に対する助成事業

- ・選考委員会を4月26日に開催し、7件の応募について審査した結果、2件を採択とした
テーマ：①「在宅療養高齢者に対する便秘の病態に沿った排便ケアの実践戦略の確立 - 訪問看護師の実態とジレンマの解析に基づく提案 - 」
研究代表者：小藪江 一代（わくわく訪問看護ステーションおやま管理者）
②「暴力のない援助関係性の構築に有効なコミュニケーションについての研究」
研究代表者：藤田 愛（北須磨訪問看護・リハビリセンター所長）
- ・前記テーマの報告書を受理した（平成31年4月）

5. その他本財団の目的を達成するために必要な事業

1) 広報事業

- (1) 財団ニュースの発行と配布
財団ニュース編集会議を毎月開催し機関紙を発行して会員や行政、関連団体等に配布した
173,610部（平成30年4月～平成31年3月 ※8月のみ休刊）
- (2) 日本訪問看護財団事業のご案内（「The Home Care 2019」）の発行（平成31年2月）
- (3) ホームページによる情報発信の充実
 - ・ホームページアクセス数：251,792件
 - ・SSLによるセキュリティ強化
 - ・訪問看護関連の最新情報や被災地支援状況等を随時情報提供
 - ・会員サイトの充実
（財団機関紙の3年間バックナンバー、訪問看護Q&A、ひな形集などの掲載）
 - ・平成30年度診療報酬改定・介護報酬改定の概要の情報提供
 - ・研修の案内、新刊の紹介等
- (4) ファックスサービスによる情報提供等
 - ・平成30年度診療報酬改定・介護報酬改定の概要について情報提供した
 - ・令和2年診療報酬改定に関する要望についてアンケート調査した
- (5) 小冊子等の作成と無償配布
 - ・「こんにちは！訪問看護です」の改訂版を作成し無料配布して訪問看護の普及に貢献した
- (6) 訪問看護普及キャンペーン
 - ・本財団作成のポスター、クリアファイル、PR旗（こんにちは訪問看護です）を特別価格（通常価格の1/3程度）で販売した

2) 印刷物発行・監修等及び販売事業

- (1) 専門図書、小冊子、テキスト等の作成・配布
 - ・「新版 訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル第3版」を販売：158冊
 - ・「訪問看護お悩み相談室 平成30年改定版」（改訂・販売）：477冊
 - ・「2018年版訪問看護関連報酬・請求ガイド」（作成・販売）：5,289冊
（第1版5月1日、第2版1刷6月1日、第2版2刷10月1日、第2版3刷は令和元年5月30日発行予定）
 - ・「OJTガイドブック」（販売）：478冊
 - ・「OJTシート」（販売）：454部
 - ・「OJTバインダー」（販売）：136冊
 - ・「日本版成人高齢者用アセスメントとケアプラン（財団方式）展開テキスト」（販売）：85冊
 - ・「介護職員のための医療的ケア」（販売）：22冊
 - ・「訪問看護基本テキスト総論編」の監修及び分担執筆（30年11月1日発行）：55冊
 - ・「訪問看護基本テキスト各論」の監修及び分担執筆（30年12月20日発行）：46冊
 - ・訪問看護ステーションにおける個人情報ガイドブック改定版の編集会議の開催（9月19日）

- ・中央法規出版株式会社発行「はじめての訪問看護」の編集・執筆、発刊（4月1日）
編集会議の開催（10月23日、平成31年3月12日）
 - ・中央法規出版株式会社発行「訪問看護報酬請求マニュアル（仮）」の編集・執筆中、発刊予定（8月）
編集会議の開催（10月15日、23日、平成31年3月12日）
 - ・学会事務センター発行「イラストによる認知症ケア」を作成中
- (2) 研修テキストの作成
各種研修会ごとに作成配布
- (3) 小冊子等
- ・「訪問看護サービス」（改訂版発行（8月1日）・販売）：742冊
 - ・「訪問看護でがんばるあなたへ」（販売）：62冊
 - ・「訪問看護サービス質評価のためのガイドライン」（販売）：96冊
 - 「新版 訪問看護サービスの質評価ガイド」を作成中（令和元年5月発行予定）
- (4) 帳票・記録用紙の改訂・印刷・販売他：6,653部

3) 訪問看護等在宅ケア関連職種間の連携促進事業

- (1) 「訪問看護サミット2018」及び企業展示会の開催
- 日 時：11月11日（日）9時30分～16時
- 会 場：ベルサール新宿グランドホール及びロビー ※企業展示会の出展企業：46社
- 参加者：700名
- テーマ：「ともに支えあう地域づくりへのチャレンジ」
- 《特別講演》 「日々の看護実践から、新たな絆づくりへ」
演者：秋山 正子氏
（株式会社ケアーズ 代表取締役（白十字訪問看護ステーション・白十字ヘルパーステーション統括所長・マギーズ東京センター長）
- 《特別講演》 「世界のプライマリヘルスケアと日本の訪問看護」
演者：喜多 悦子氏
（公益財団法人笹川記念保健協力財団 会長）
- 《シンポジウム》 ともに支えあう地域づくりへのチャレンジ
- 座長：平原 優美 日本訪問看護財団 事務局次長（あすか山訪問看護ステーション 統括所長）
- ・「地域のみんなのよりどころ」
シンポジスト：榎原 千秋氏 NPO法人いのちにやさしいまちづくりぼぼねっと 理事長
（訪問看護ステーションややのいえ 管理者・ちひろ助産院 院長）
 - ・「誰もが社会参加を～障害福祉サービスにおける相談支援専門員として」
シンポジスト：西村 幸 日本訪問看護財団在宅ケアセンターひなたぼっこ
（松山相談支援センター 管理者）
 - ・「看護の価値を見える化し、地域に新たな価値をデザインしていく挑戦」
シンポジスト：藤野 泰平氏 株式会社デザインケア 代表取締役
（みんなのかかりつけ訪問看護ステーション名古屋 所長）
- (2) 看護フェア（6月12・13日）、国際モダンホスピタルショー（7月11・12・13日）への出展、訪問看護のPR
- (3) 一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会の事務局運営に協力
- ・理事会（5月13日、8月19日、平成31年2月3日）
 - ・理事・ブロック長合同会議（6月2日、平成31年2月3日）
 - ・総会（6月2日大阪）・交流会（11月10日：東京）
 - ・会員管理
 - ・印刷物等の発行（協議会パンフレット・事業報告書）
 - ・広報活動（訪問看護サミットでのPR活動）
- (4) 療養通所介護推進事業
- ・療養通所介護の見学交流会の開催（場所：ナーシングデイ山の上、6月30日） 参加者：30名

- ・厚生労働省老人保健健康等増進事業「看多機及び療養通所介護の実態調査委員会委員として出席（9月21日、12月17日）
- (5) 訪問看護推進連携会議(日本看護協会、日本訪問看護財団、全国訪問看護事業協会)への参画
(12月11日、平成31年3月5日)
 - ・議題：各団体の事業進捗状況等の共有等
- (6) 看護系学会等社会保険連合への参画
 - ・看保連総会（4月27日）、看保連の報酬改定に関する研修会（5月14日）
 - 看保連臨時総会（10月30日）、報酬改定検討会（平成31年2月19日）
- (7) その他行政、関連学会、団体等との連携・会議
 - ・厚生労働省「全国在宅医療会議」（平成31年2月27日）
 - ・東京都庁「看護人材確保対策会議」（5月22日、10月16日、平成31年2月19日）
 - ・東京都庁「在宅療養会議」（平成31年3月26日）
 - ・全国訪問看護事業協会「訪問看護人材教育のあり方検討委員会」（7月10日、11月29、30日、平成31年3月6日）、
「ICTを活用したサービスの質評価のための調査研究事業」（平成31年3月20日）
 - ・日本看護協会関係
「訪問看護人材確保検討会」（7月30日、10月29日、12月11日、平成31年1月17日）
 - ・日本ケアマネジメント学会の監査（4月25日、11月28日）
 - ・日本看護科学学会、日本在宅看護学会、在宅医学会、在宅医療学会等に参加

4) 東日本大震災に関わる被災地支援活動

- (1) 名取市委託事業「仮設住宅健康推進事業」の実施
現地の看護師6名により、訪問看護、健康相談、集団健康教育などにより、現在、宮城県名取市内3か所の仮設住宅を対象に支援活動を実施した
- (2) 復興住宅の住民も含めた健康支援活動の実施「まちな保健室」月2回開催
6月1日（金） 閑上仮設公民館「まちな保健室」事業、わくわくランチについて検討
- (3) 名取市障がい者等地域づくり協議会・事例検討会（月1回）に参加
 - ・統合失調症の事例を通して、地域の社会資源や様々な支援方法、「障害者総合支援法等に関する制度（平成30年度障害福祉サービス等報酬改定に伴う事務要綱）」、「名取市障害者等地域づくり協議会の活動状況について」検討した
 - ・名取市の委託事業の終結に向けた保健センターとの話し合いを行った（11月21日）
(訪問活動等記録、事務所内備品の処分、訪問車、非常勤職員の今後の対応など)
- (4) 名取市委託事業を実施してきた財団名取事務所の解散式（平成31年3月25日）の開催
 - ・開催場所：仮設住宅集会室
 - ・出席者：名取市長、市医師会副会長、市保健センター長、保健師、自治会長、民生委員、地域包括支援センター関係者と、当財団の看護師ら約40名参加した

5) 西日本豪雨被災

情報収集とともに財団の販売物無償提供をホームページにて案内した。求めにより書籍・帳票を提供した

6) 北海道胆振東部地震

北海道訪問看護ステーション連絡協議会と北海道在宅ケア事業団に財団販売物の無償提供を案内した

7) 賛助会員に関すること

平成31年3月末現在実績の対前年度（年度末）比は、個人会員が97.0%、団体会員が108.2%となった
特に、研修受講や訪問看護ステーション開設相談から、特別団体会員の加入となるが多かった

賛助会員加入状況

（平成31年3月末日現在）

会員種別	会 員 数		
	平成30年度	平成29年度	対前年度
専門職会員	1,613名	1,666名	▲53名 96.8%
一般会員	31名	29名	2名 106.9%
学生会員	9名	9名	0名 100.0%
専門職能団体会員	51団体	51団体	0団体 100.0%
法人会員	163法人	154法人	9団体 105.8%
特別団体会員	2,206団体	2,031団体	175団体 108.6%
合計	個人会員	1,653名	▲51名 97.0%
	団体会員	2,420団体	184団体 108.2%

8) 訪問看護等在宅ケアに従事する者の福利厚生に関する事業

財団会員である訪問看護従事者の福利厚生事業 「あんしん総合保険制度」の普及を図り、加入団体件数は、1,633（前年度1,508）となった

9) 寄付金に関すること

一般寄付金の募集

寄付の受入状況

（平成31年3月末日現在）

区分	受納延べ件数	寄付金受納額
平成30年度	4件	9,318,019円
参 考	29年度	2件 170,000円
	28年度	4件 14,313,353円
	27年度	4件 378,789円
	26年度	3件 30,001円

※30年度内訳（一般会計4件 9,318,019円 特別会計0件）

10) 会議の開催

(1) 理事会・評議員会

○第1回理事会（5月31日（木）14時～16時）

出席者：12名

以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された

- ・平成29年度事業報告
- ・平成29年度収支決算
- ・評議員開催日時等の決定等

○第1回評議員会（6月25日（月）14時～16時）

出席者：8名

以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された

- ・平成29年度事業報告
- ・平成29年度収支決算
- ・任期満了退任に伴う退任2名を除き12名が重任
季羽倭文子理事（退任）
井伊久美子理事（退任）
- ・新任理事：勝又浜子理事（公益社団法人 日本看護協会専務理事）

○第2回理事会（みなし決議：書面理事会）（平成30年8月7日）

・理事長・副理事長・常務理事の選任の件

（重任）理事長 清水 嘉与子

（重任）副理事長 福井 トシ子

（重任）常務理事 佐藤 美穂子（事務局長を兼務）

○第2回評議員会（みなし決議：書面評議員会）（平成30年9月10日）

・評議員の選任の件

（就任）平川 俊夫氏（公益社団法人 日本医師会 常任理事）

※辞任の温泉川梅代評議員（公益社団法人 日本医師会 常任理事）の後任として選任

○第3回理事会（平成31年3月14日）

以下の議案が審議され、全ての議案が原案どおり可決された

・平成30年度補正予算

・平成31年度事業計画 ・平成31年度収支予算

(2) 監事監査

第1回監査 平成29年度事業・決算の監査（平成30年5月28日）

第2回監査 平成30年度半期の監査（平成30年12月21日）

(3) 平成30年度在宅看護専門委員会の開催（平成31年3月11日）

内 容：「在宅アセスメントシステム」の改良後報告と今後の普及方法について、在宅アセスメントシステムから、AIを活用して訪問看護データの集積と解析の可能性についての検討

委 員：田高悦子氏（委員長）、秋山智弥氏、横田千明氏

（内部委員）佐藤美穂子、平原優美、菊地よしこ

11) その他

財団会員管理に関する新システムの構築に着手した